

図 版



調査参加者集合写真（ナガラ原東貝塚にて）

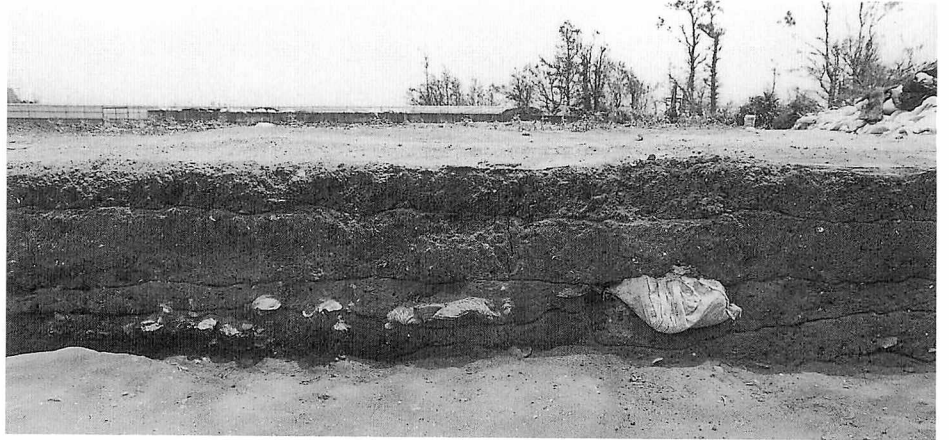


1 遺跡発掘調査前近景（北から）



2 遺跡発掘調査終了時近景（南から）

1 北1東1グリッド
東壁土層断面



2 北1東1グリッド
西壁土層断面



3 北1西1グリッド
北壁土層断面



4 北1西1グリッド
西壁土層断面





1 北1東1グリッドI・II区IV下層貝集積状況(南から)



2 北1東1グリッドI区IV下層イノシシ下顎骨出土状況



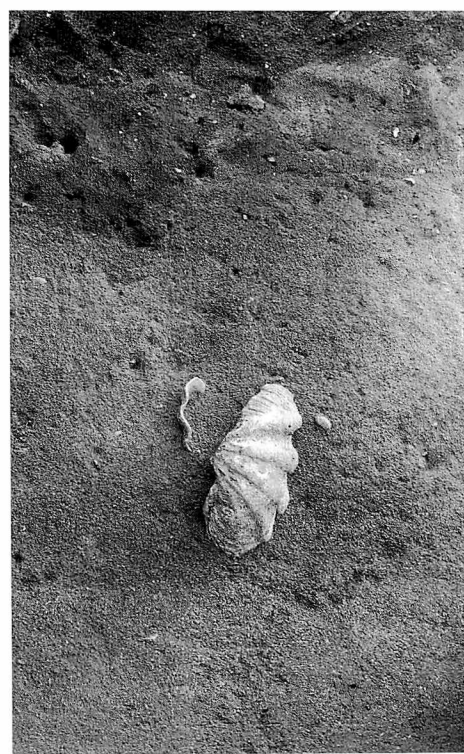
3 北1東1グリッドIII区IV下層イノシシ歯出土状況



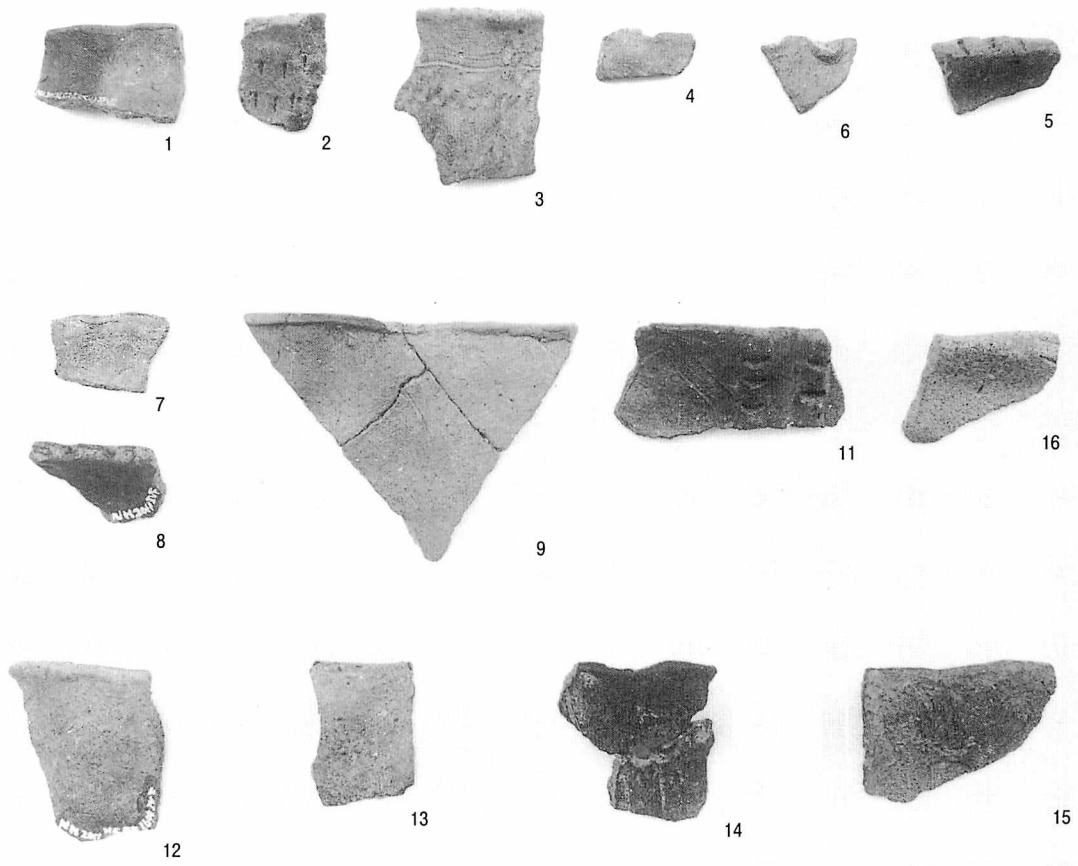
1 北1東1グリッド大型サンゴと立位シャコガイ



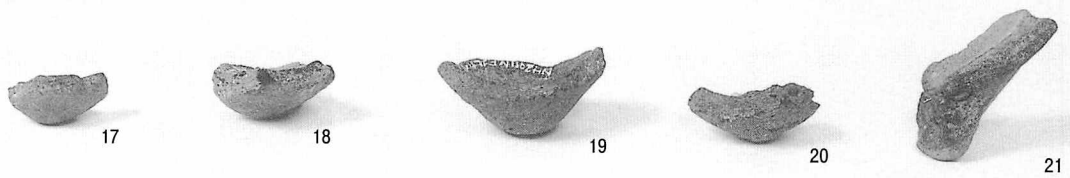
2 北1東1グリッドI区立位シャコガイ検出状況



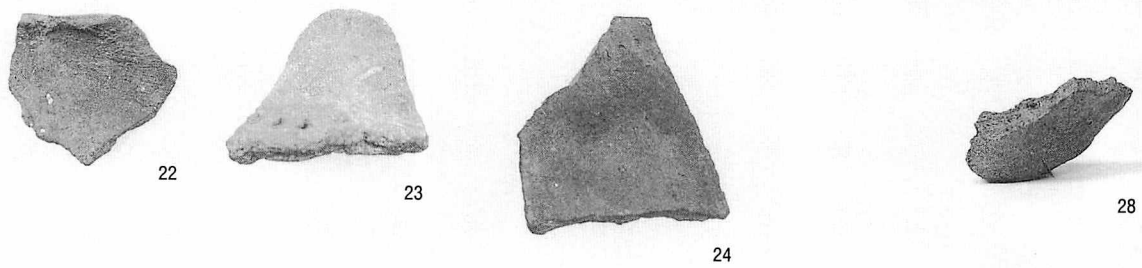
3 北1西1グリッド南壁土層断面東端部立位シャコガイ



1 IV下層出土土器 甕口縁部 (番号は第13図に対応)

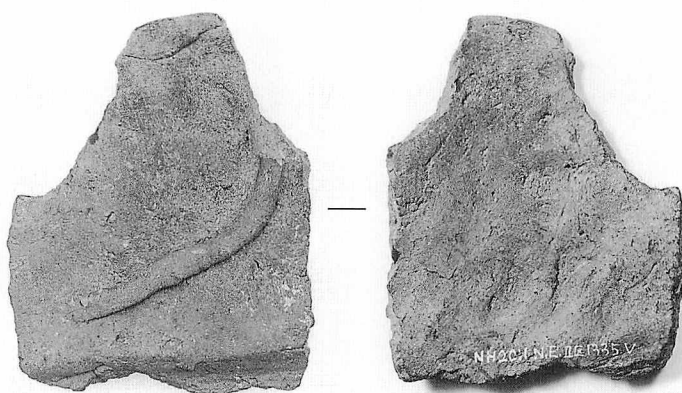


2 IV下層出土土器 甕底部 (番号は第13図に対応)

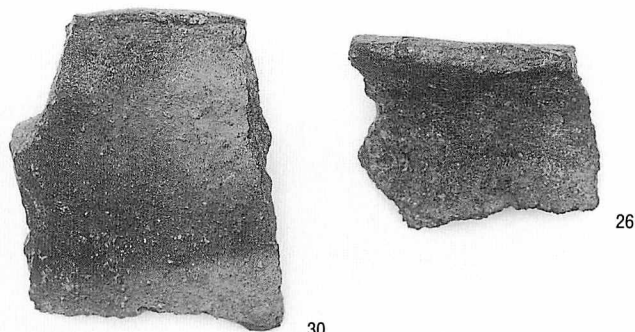


3 IV下層出土土器 壺口縁部 (番号は第14図に対応)

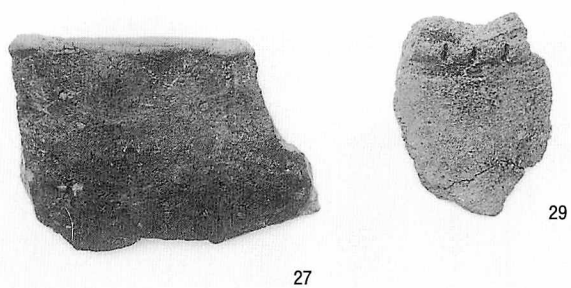
4 V / VII層出土土器 底部 (番号は第14図に対応)



1 V下層出土スセン當式土器
(左:外面 右:内面) (番号は第14図に対応)



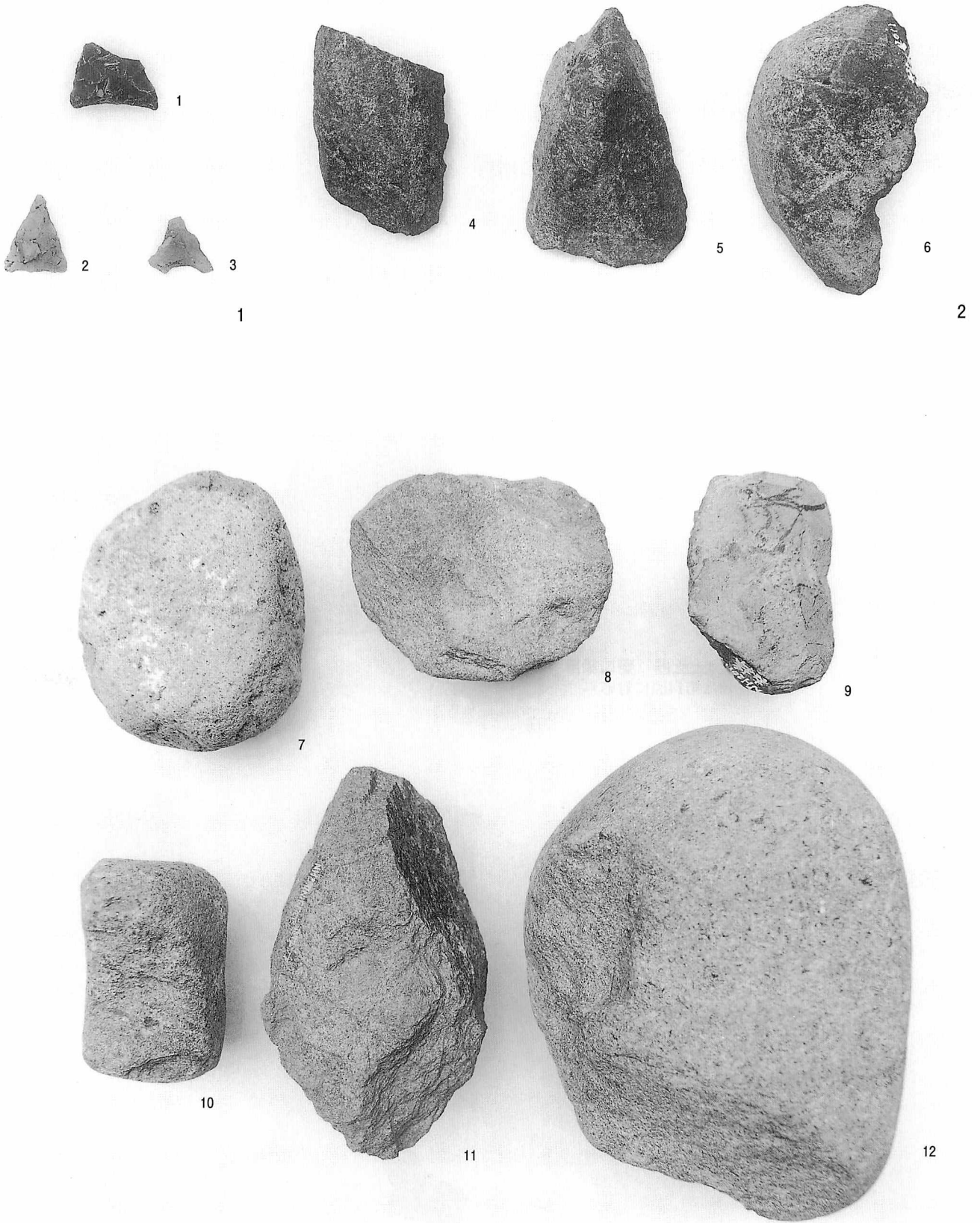
2 V層出土土器 甕口縁部
(番号は第14図に対応)



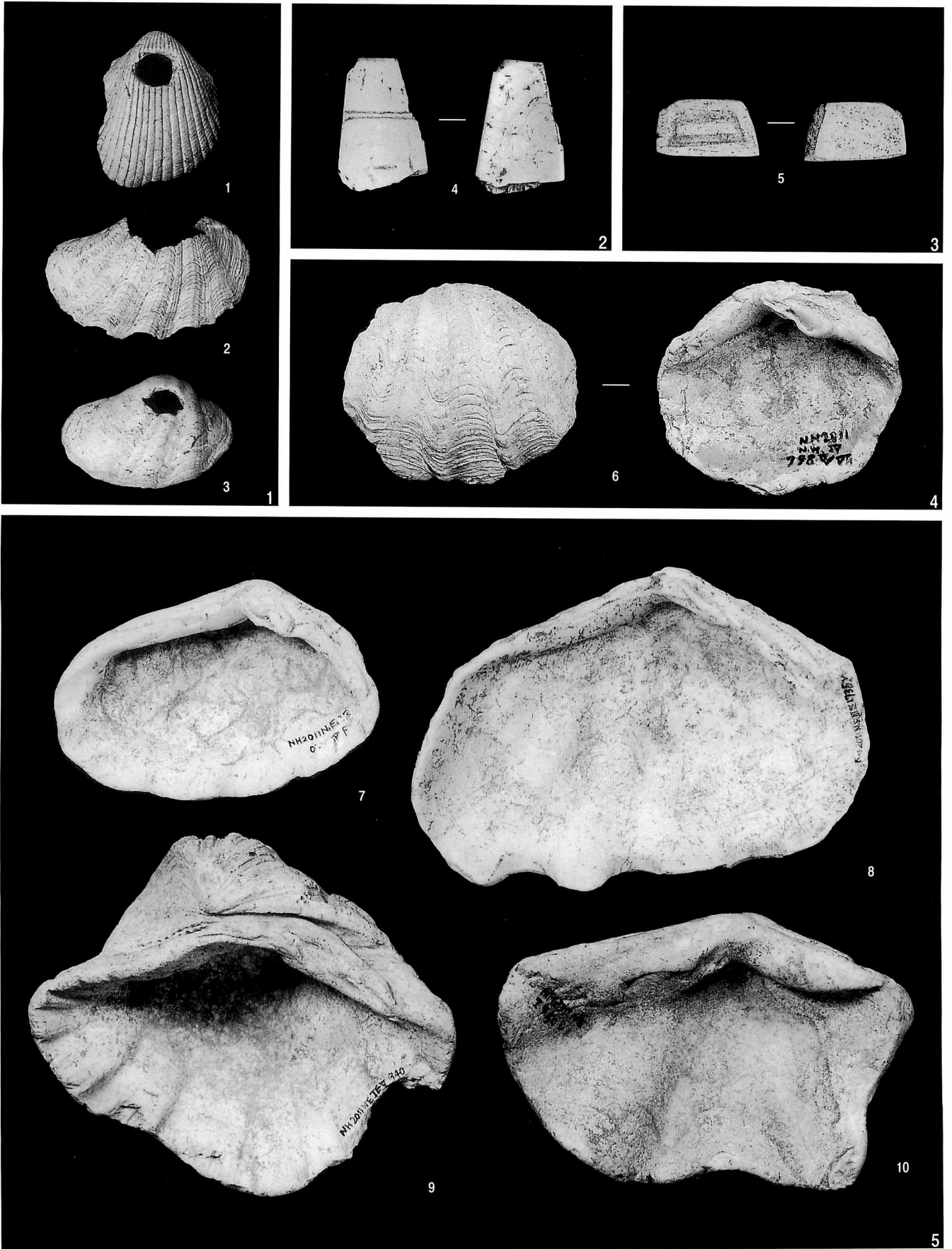
3 廃土内出土土器 壺口縁部
(番号は第14図に対応)



4 廃土内出土土器 底部
(番号は第14図に対応)



1 石鏃 (番号は第29図に対応) 2 磨石 (番号は第30図に対応) 3 その他石器 (番号は第30・31図に対応)



1 有孔貝製品 (番号は第39図に対応) 2 貝符 1 (左: 外面 右: 内面) (番号は第40図に対応)
3 貝符 2 (左: 外面 右: 内面) (番号は第40図に対応) 4 円形貝製品 (左: 外面 右: 内面) (番号は第41図に対応)
5 皿状貝製品 (番号は第44図に対応)



1 出土イノシシ骨 1. イノシシ踵骨 2. イノシシ上腕骨 3. イノシシ脛骨 4. イノシシ脛骨



2 脊椎動物遺体 1. イノシシ下顎M2 2. イノシシ坐骨 3. イルカ類椎骨 4. アオブダイ属上咽頭骨 5. アオブダイ属下咽頭骨 6. アオブダイ属歯骨 7. リュウキュウヤマガメ剣状骨盤 8. コウイカ甲 9. コウイカ甲

報 告 書 抄 録

ふりがな	ながらぼるひがしかいづか8							
書名	ナガラ原東貝塚8							
シリーズ名	考古学研究室報告							
シリーズ番号	47							
編集者名	柴田亮（しばた りょう）							
発行機関	熊本大学文学部考古学研究室							
所在地	〒860-8555 熊本県熊本市黒髪2丁目40-1 TEL.096-344-2111（代表）							
発行年月日	2012年3月30日							
ふりがな 所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ながらぼるひがしかいづか ナガラ原東貝塚	おきなわけん 沖縄県 くにがみぐん 国頭郡 いへそん 伊江村 あごかわひら 字川平	47315	44	26° 42′ 39″	127° 47′ 05″	2011/09/01 } 2011/09/14	42.75㎡	学術調査
所収遺跡	種別	時代		遺構	遺物	特記事項		
ナガラ原東貝塚	貝塚	沖縄貝塚時代前期 沖縄貝塚時代中期 沖縄貝塚時代後期		柱穴 炉址 ピット	土器 石器 貝製品 自然遺物	立位シャコガイ スセン當式土器 貝符		
備考	北緯と東経は世界測地系による。数値は調査基準点P0をGPS測量により計測したものである。 P0（X座標：78804.229m Y座標：28337.952m）							

2011年度 研究室の足跡

- 4月1日 小畑弘己教授 熊本大学文学部教授に就任
石丸恵利子埋蔵文化財調査室技術補佐員に就任
学部生8名進学、大学院博士前期課程2名入学
- 8月17日～8月28日 熊本県上天草にてカミノハナ古墳群測量調査
- 8月11日～8月14日 大学院集中講義「文化財保護論」公益財団法人文化財虫害研究所 和田勝彦先生
- 8月23日～9月16日 小畑弘己教授、モンゴル・アウラガ遺跡・タマシャクブラク遺跡・バルーンウルジット遺跡
ズーンウルジット遺跡発掘調査
- 9月1日～9月14日 沖縄県国頭郡伊江村にてナガラ原東貝塚発掘調査
- 9月22日 木下尚子教授、国際シンポジウム「全方位民族考古学者 國分直一」にて「日本考古学に南からの
視点を導入した國分直一博士の業績」発表（台湾大学）
- 9月22日～9月25日 小畑弘己教授、国際シンポジウム「東アジアの植物考古学研究の現状と課題」にて「近年の圧痕法
による縄文時代栽培植物の研究成果」発表（ソウル大学）
- 9月22日～9月25日 文学部集中講義「東南アジアの古代都市と国家の成立」鹿児島大学 新田栄治先生
- 10月28日～10月30日 木下尚子教授「馬祖列島における海洋環境と文化国際シンポジウム」にて「關於史前時代琉球の海
洋環境與文化」を発表（台湾中央研究院・連江県文化局）
- 11月1日～11月7日 熊本県阿蘇にて平原古墳群測量調査
- 12月23日～12月25日 大学院集中講義「文化行政特論」奈良大学 坂井秀弥先生
- 1月10日 修士論文提出
松崎友理「古墳時代小札甲の構造と副葬意義」
- 1月12日 卒業論文提出
内海充貴「中国地方における卜骨の研究 ～弥生時代前期から古墳時代前期を中心に～」
甲斐郁「九州における古墳副葬鉄鏃の研究」
金子真夕「移動式竈に関する研究」
塩谷和音「九州における近世六道銭の研究」
平木琢「西南戦争の考古学的研究」
東佳苗「九州の両頭金具に関する研究」
安田未来「先史時代の琉球列島における猪牙製品の研究」
- 2月9日 卒業論文・修士論文口頭試問会
- 3月23日 学位授与式 学部生7名、大学院生2名を送る
以下の1名に、熊本大学社会文化科学研究科より博士（文学）が授与される。
山野ケン陽次郎「先史琉球列島における貝製品の研究」
- 3月31日 『考古学研究室報告』第47集刊行

考古学研究室報告 第47集

発行年月日 2012年3月30日

編集・発行 熊本大学文学部考古学研究室
〒860-8555 熊本市黒髪2-40-1
Tel. 096-344-2111 (代表)

印刷 シモダ印刷株式会社
〒862-0951 熊本市上水前寺2丁目16-16
Tel. 096-383-5512
Fax. 096-386-5454